

東京都立松が谷高等学校 平成31年度 年間授業計画

教科:(芸術)科目:(書道Ⅱ)対象:(第2学年3組～8組)

使用教科書:書道Ⅱ(光村図書)

使用教材:

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	単元 時数
4月	オリエンテーション	・書道Ⅰで学習してきた書の表現と基礎技能を復習し、書道Ⅱでの学習内容を確認する。	授業態度	2
	五書体とその変遷	・五書体それぞれの特徴と歴史の中での変遷を理解する。 ・書写材料の変化が書体の変遷につながることに気付く。 ・字書で自分の名前の五書体を調べる。	字書を引き書体の識別ができたか 授業態度	2
5月	篆書の学習・石鼓文	・石鼓文の鑑賞・臨書を通して篆書の特徴を捉える。 ・左右対称の字形や丸く滑らかな転折、蔵鋒による起筆、収筆の用筆などを確認する。 ・均衡の取れた字形や、堂々とした造形美を捉える。 ・用筆と字形の特徴を理解し、臨書する。	石鼓文臨書 授業態度	2
	篆書の学習・召尊	・召尊の鑑賞・臨書を通して金文の特徴を捉える。 ・重厚な線質、象形的な字形を学び、漢字の原初の姿を理解する。 ・用筆と字形の特徴を理解し、臨書する。	召尊臨書 授業態度	2
6月	篆書の学習・甲骨文	・甲骨文の鑑賞・臨書を通して硬い甲骨に彫られた直線的な筆画の特徴を捉える。 ・石鼓文や召尊と比較をし、篆書の多彩な表現方法を学ぶ。 ・用筆と字形の特徴を理解し、臨書する。	甲骨文臨書 授業態度	2
	隸書の学習・曹全碑	・曹全碑の鑑賞・臨書を通して隸書の特徴と成立過程を捉える。 ・隸書の特徴である蔵鋒による起筆や水平垂直の構成、波磔、波勢、転折の特徴を確認する。 ・用筆と字形の特徴を理解し、臨書する。	曹全碑臨書 授業態度	2
	隸書の学習・乙瑛碑	・乙瑛碑の鑑賞・臨書を通して隸書の特徴を捉える。 ・強調された波磔から生み出される重厚感を学び、隸書の基本的な点画や線質の表し方と用法を理解する。 ・用筆と字形の特徴を理解し臨書する。	乙瑛碑臨書 授業態度	2
	隸書の学習・漢代木簡	・木簡、竹簡について知り肉筆から読み取れる隸書の用筆を観察する。 ・乙瑛碑などと比較して、漢代木簡の真率で精彩に満ちた書風を学ぶ。 ・用筆と字形を理解し、臨書する。	漢代木簡臨書 授業態度	2
	草書の学習・漢代木簡の書	・草書の原初となった漢代木簡の鑑賞・臨書を通して草書の成立過程を捉える。 ・草書の特徴である曲線や大胆な省略といった特徴を確認する。 ・用筆と字形の特徴を理解し、臨書する。	漢代木簡臨書 授業態度	2
7月	草書の学習・書譜	・仮名の古典を鑑賞し、理解を深める。 ・日本書道史における仮名の隆盛期について、古筆が生まれた背景について理解する。 ・表現と鑑賞の関連を理解し作品と向き合い、その美しさや作者の気持ちを感じ取る。 ・文字の構成や美しい紙面構成を理解し、視覚的効果を高める創造的な表現を学ぶ。	書譜臨書 授業態度	
8月				
9月	篆刻の学習・印の表現	・印の歴史を理解する。 ・甲骨文・金文・小篆で学んだ篆書の基礎表現を印へと繋げる。 ・様々な印を鑑賞し、その美や構成する諸要素や表現方法、形式を理解する。	ワークシート 授業態度	2
	篆刻の学習・姓名印作成	・書体や書風、配字による表現の効果を理解する。 ・デッサン印稿の段階では字数、書体、書風においてできるだけ多くの表現に挑戦する。 ・白文印、朱文印の制作手順を理解する。	ワークシート 印稿(デッサン) 授業態度	2
	篆刻の学習・姓名印作成	・制作を通して篆刻の技能を習得する。 ・本印稿の段階で完成度を高め書的な表現を意識する。	ワークシート 本印稿 授業態度	2
10月	篆刻の学習・姓名印作成	・白文、朱文それぞれの運刀法を正確に理解し姓名印を2顆完成させる。 ・白文、朱文印ともに押印したのを見ながら補刀する。	姓名印 印影 授業態度	2
	篆刻の学習・姓名印作成	・印泥の正しい扱い方を理解し、印褥台、印矩を使用して美しく押印できるようにする。 ・完成したら印箋に押印をし篆刻作品とする。	姓名印 印影 授業態度	2
	作品に押印	・篆書作品に押印し、印の効果を味わう。	姓名印 印影 授業態度	2
11月	仮名の書・古筆の美	・仮名の古典を鑑賞し、理解を深める。 ・日本書道史における仮名の隆盛期について、古筆が生まれた背景について理解する。 ・表現と鑑賞の関連を理解し作品と向き合い、その美しさや作者の気持ちを感じ取る。 ・文字の構成や美しい紙面構成を理解し、視覚的効果を高める創造的な表現を学ぶ。	古筆和歌の読解プリント 授業態度	2
12月	仮名の書・線、単体、連綿等の復習	・草書が簡略化され仮名が成立したということをおさえながら、仮名の線は動きの中で生まれてくるものであることに気付かせる。単体の字形は外形をとらえることを中心にし、連綿は呼吸に留意させる。	ワークシート 授業態度	4
	高野切第一種	・高野切第一種の鑑賞・臨書を通して仮名の美しさを学ぶ。 ・自然で無理のない連綿や墨の潤濁の変化の美しさを確認する。 ・連綿の基本である形連、意連について確認する。 ・墨継ぎによる表現の美を感じ取る。	高野切第一種臨書 授業態度	6
1月	寸松庵色紙	・寸松庵色紙の鑑賞・臨書について理解する。 ・変体仮名の様々な書き方を習得する。 ・用筆と字形を確認し、臨書する。	寸松庵色紙臨書 授業態度	2
	寸松庵色紙	・寸松庵色紙の鑑賞・臨書について理解する。 ・変体仮名の様々な書き方を習得する。 ・用筆と字形を確認し、臨書する。	寸松庵色紙臨書 授業態度	2
	寸松庵色紙	・寸松庵色紙の代表的な散らし書きを捉える。 ・三色紙である他の升色紙、継色紙と比較し紙面構成の違いを確認する。	寸松庵色紙臨書 授業態度	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 授業 数
2 月	漢字仮名交じりの創作	・漢字仮名交じりの作品にするための言葉を探す。出典も明記しなければならないことを理解する。	漢字仮名交じりの創作作品の草稿 授業態度	2
	漢字仮名交じりの創作	・書体や書風、配字による表現の効果を理解し、自分のイメージに近づくように工夫する。 ・紙面構成、用具用材の変化のあるものを何種類か制作して草稿を練る。	漢字仮名交じりの創作作品の草稿 授業態度	4
	漢字仮名交じりの創作	・一年間のまとめとして、好きな題材で、好きな書体を用いて自由に創作をした全員の作品を鑑賞する。 ・それぞれの良さを味わい個性を認め合う。	漢字仮名交じりの創作作品 授業態度	2
3 月				